

聖籠町ゼロカーボンシティ宣言

近年、地球温暖化の影響とみられる気候変動により、世界各地で猛暑や台風などの異常気象が多発し、日本でも各地において集中豪雨や台風等による自然災害が頻発するなど、自然環境や生態系への影響等が懸念されており、温暖化対策は喫緊の課題となっています。

2015年に採択されたパリ協定では、「平均気温の上昇を産業革命前に比べ2℃未満とし、1.5℃に抑える努力をする」ことが世界共有の目標とされています。

わが国では、2020年10月に内閣総理大臣所信表明において「2050年までにカーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指す」ことが宣言され、新潟県においても国の方針と同様、2050年までの「温室効果ガス排出量実質ゼロの社会(脱炭素社会)」の実現を掲げています。

こうした状況を踏まえ、本町においても、脱炭素社会に向けて温室効果ガスの排出量削減を推進し、豊かな自然環境を守り、将来の世代が安心して暮らすことのできるまちづくりを進めるため、町民や事業者の皆さんと共に2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」の実現を目指すことを宣言します。

令和6年3月6日

聖籠町長 **西 脇道夫**